

UTPケーブルの製作手順

準備する物

- * 作業工具(ニッパ・外皮むき工具・圧着工具等)
- * 配線材料(UTPケーブル・モジュラープラグ(RJ-45))
- * ケーブルテスター



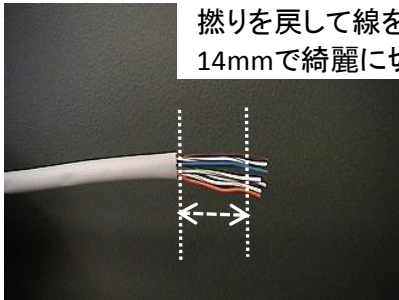
1



2



2-2



撚りを戻して線を番順に並べ、14mmで綺麗に切り揃える

3-1



3-2



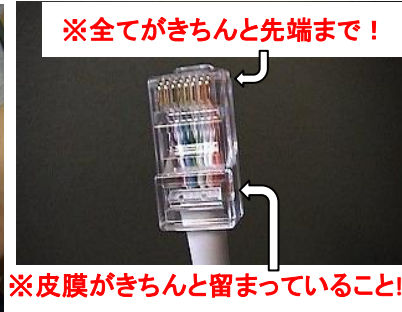
4

配線順を崩さず、全てきちんと先端に届くまで差し込む！被膜も十分に奥まで！



力を入れて最後まで握る！

5-1



※全てがきちんと先端まで！

※皮膜がきちんと留まっていること！

5-2



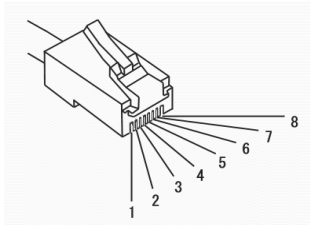
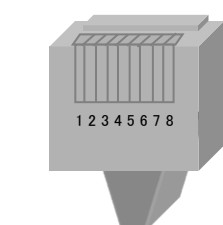
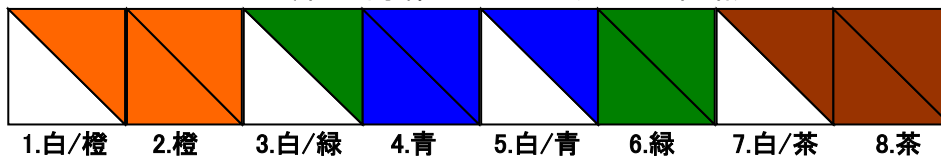
6

電源スイッチ ←ON

1. ケーブルを必要な長さに切断する。(今回は一人約1m以内、最低20cm)
2. ケーブルの被覆を2cm弱程度剥く。(外皮むき工具を利用。圧着工具(写真)でも可)
3. 撚りを戻して線を番順に並べ、14mm(裏面参照)で端を綺麗に切り揃える。
4. ケーブルをプラグに挿入。(正面から目視で**全て綺麗に奥まで入っているか確認**)
(**外側の被膜が三角より奥にきちんと入っているか確認**)
5. 圧着工具で圧着。**目視チェック&抜けないかチェック**。
6. ケーブルテスターで**導通チェック**。(両端を差し込み、右側中央スイッチON)
1-8緑、Straight赤点灯ならばOK。点滅、消灯はNG。

★ストレートケーブル＝両端が**568B**または**568A**(**568B**が一般的)
(クロスケーブル ＝片端が**568A**、もう片端が**568B**)

EIA/TIA-568B ←今回は両端ともこちら！(568Aは省略)



★被膜:奥まで! ★各線:先端まで!

